

令和7年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和7年11月21日(金曜日)

○日時 令和7年11月21日 午後1時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 令和7年度除雪計画について
2. 行政視察のとりまとめについて

○出席委員(7名)

委員 長	山田 庫司郎
委員	石垣 直樹
	井戸 達也
	小田部 照
	立崎 聡一
	深津 晴江
	村椿 敏章

○欠席委員(1名) 澤谷 淳子

○議長 松浦 敏司

○傍聴議員(4名)

	里見 哲也
	永本 浩子
	古田 純也
	古都 宣裕

○説明者

副市長	後藤 利博
建設港湾部長	立花 学
都市管理課長	近藤 賢

○事務局職員

事務局 長	岩尾 弘敏
次 長	本橋 洋樹
総務議事係長	和田 亮
総務議事係	平間 公稀

午後1時00分開会

○山田庫司郎委員長 ただいまから、総務経済委員会を開催いたします。初めに、本日の委員会ですが、澤谷委員から欠席の届出がありましたので御報告いたします。

本日は、所管事務調査及び行政視察のとりまとめ

について協議をいたします。

それでは議件1、令和7年度除雪計画についての説明を求めます。

○近藤賢都市管理課長 資料1号を御覧願います。令和7年度除雪計画について、御説明いたします。

1ページになりますが、1番目の初めから5番目の除排雪体制については、例年どおり特に大きな変更はございません。

6番目の除排雪機械の体制ですが、こちらは本年度は83台を配備いたしました。市の車を委託業者に貸し出す官貸車両は昨年同様23台、事業者からの借上車両につきましては49台になります。1台減少した車両はオペレーターの退職に伴い、グレーダーが1台減となっておりますが、該当する路線のグレーダーがけは、市の私有車両で委託業者が行います。そして郊外委託車両につきましては、昨年同様11台を配備しております。なお、組合の加入する事業者一社が路線除雪から撤退しましたが、別の事業者が引き継いでいることで、当該路線の除雪は確保されている状況でございます。

続いて、2ページ目の7番、除排雪作業から次の3ページ目については、特に大きな変更はございません。

そして、最後のほうになるのですが、14ページ、15ページと飛んでしまうのですが、こちらがチラシ、除雪についての五つのお願いでございます。こちらは、まず15ページの最後になってしまうのですが、市役所が移転したことに伴いまして、これまで本庁舎の玄関前左側に設置していた市民の皆様への提供用の微砂利置場が、エコーセンター2000の裏側に移転したことについて、記載をしております。また、除雪担い手アンケートを昨年からはじめたところですが、こちらの一つの手段として引き続き募集したいというふうに考えておりますが、これは受け身になってなかなか入ってこないところもございますので、私どもとしても、直接いろいろな事業所などに出向いて直接話を聞くことも併せて実施したいと考えております。また、おととしから始めました公園を雪置場として利用することについても記載し、利用の拡大を図ってまいります。

その他の資料等につきましては、後ほど御確認い

ただければと思います。

説明は以上であります。本年度におきましても市民の皆様が快適に冬を過ごせるよう、除雪業務の推進に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○山田庫司郎委員長 ただいまの説明に対しまして、質疑等を受けたいと思いますが、

○立崎聡一委員 微砂利置く場所、エコセンター裏と言っていたのですけれども、もうちょっと具体的に教えてもらえませんか。結構聞かれるもので。

○近藤賢都市管理課長 このチラシの裏面の地図を見ていただくとわかるのですが、川側ではなくて、道路側のほうの第1、第2駐車場と第3駐車場を結ぶ通路沿いに設置をしまして、最初は、市道沿いに設置したほうがいいのかといろいろ検討したのですけれども、道路交通の妨げになることを考えまして、エコセンター側と協議しまして内部の通路側に設置をすることとさせていただきます。

○立崎聡一委員 わかりました。結構これ利用すると思うのですよ。旧庁舎のとき僕らもよく議会があったり、委員会があったりしたときに見ているのですけれども、かなりの方がやっぱり利用するので、この辺は早く言っておかないと、市民の皆さんは賢いでしょうからホームページなりを見ながらやると思うのですけれども、結構聞かれます。僕らもどこにあるのですかといったときに、一瞬裏と言われてどこだったのだろうなと思って、ちょっと確認だけさせてもらいました。

以上です。

○山田庫司郎委員長 ほかにございますか。

○村椿敏章委員 事業者はもう変更はないのか。この事業者の市内の路線図の中でいくと、この渡部マシンサービスさんが新たな事業者なのかなとちょっと思ったのですけれども、どういう状況なのか確認したいと思います。

○近藤賢都市管理課長 今年に入りまして、網走工業様が諸般の事情がございまして、オペレーターの都合がつかない。そしてまた、網走工業さんはほかにも道道の除雪とかに携わっているのですが、市道の除雪について、そのオペレーターの方がいなくなったところに補完ができないということで相談がございまして、道路管理組合と協議した結果、一番大きな路線の山下通をやっていたのですが、山下通については道路管理組合の大きな除雪車に対応する。そして、今委員からありました新町3丁目と、この

天都山、丸善団地周辺のピンクの路線については、渡部マシンサービス様が引き継ぐということで協議が進んでおりまして、この冬に備えることとなっております。

○村椿敏章委員 オペレーターさんって何人で対応されたのですかね。この網走工業さんのところでいくと。

○近藤賢都市管理課長 網走工業さんにつきましては1名のオペレーターがメインでついておりまして、出れないときは、ほかの除雪業務から補完する形だったのですが、メインで携わっていた方が今年からは対応ができないということで、その事情によりまして、辞退をされたということでございます。

○村椿敏章委員 そういう意味で言えば、渡部マシンサービスさんも1人というか、1台の除雪車で今後も除雪するというふうに考えればいいということですかね。

○近藤賢都市管理課長 基本的には1台の除雪車に対応していただくのですが、1名だけではなく、補完できるドライバーもいらっしゃるということで伺っております。

○村椿敏章委員 わかりました。

○山田庫司郎委員長 ほかにございますか。

○小田部照委員 先ほど立崎委員のほうからもありましたように、今年度から微砂利の設置場所が庁舎移転に伴って変わったということですが、このビラは全戸配布されて周知していくのだと思いますが、結構見ていると取りに来る方、御高齢の方が結構多いのですよね。やっぱり足元滑るということで、旧庁舎のほうにも、やっぱり勘違いしてわからなくて取りに行くようなケースもあるのだと思いますが、僕なんかは、新しくエコセンに物置を造って設置して、これはいいのですけれども、やっぱり旧庁舎にも併設して、微砂利を今までどおり置いてあげてもいいのかなと思うのですよね。というのも、まだ取り壊されていませんで、駐車場としても活用していますし、ある程度やっぱりそこにあるんだという、何年もそう市民に周知されていますので、本当に間違い、戸惑いがなくなる。ここ1年や2年の間は、そういう対応もできるのではないかなと思います。その辺はいかがでしょうか。

○近藤賢都市管理課長 旧庁舎は2月まで使っていたということで、令和6年度のシーズンは、旧庁舎のほうで微砂利の対応させていただいたのですが、旧庁舎の駐車場を除雪等できなくなる、例えば1

月、2月に管理していくことが難しいのではということ、エコーセンターに移した次第でございます。

○小田部照委員 この冬、たしか旧庁舎のほうにも、市の車両等も置いていると思うのですけれども、そっちの除雪はしないことになるのですか。

○近藤賢都市管理課長 現状、旧庁舎の駐車場ですが、公用車の出入りのためにしか入れない形にはなっております。また、間違っただけで来られた市民の方に対しては、移転した看板等を設置して対応はしたいというふうに考えております。

○小田部照委員 今は一般車両も変な言い方ですけども、旧庁舎が空いている場合は、止めている方も結構いるのですよね。民間の方も。でも、冬はそういう民間の方は出入りできなくなるという認識なのでしょうか。除雪はしないのですか。除雪はしますよね。

○山田庫司郎委員長 暫時休憩します。
午後1時11分休憩

午後1時18分再開

○山田庫司郎委員長 再開いたします。小田部委員の質疑に対する答弁から。

○近藤賢都市管理課長 微砂利置場が移ったことにつきましては、旧庁舎のほうには看板を設置して対応します。つきましては、庁舎管理のほうとまずは協議をさせていただきます。旧庁舎新庁舎の置場も含めて、庁舎管理部門と協議をさせていただきます。

○小田部照委員 ちょっと協議していただけるということでひとまず了解しますが、周知のほうも含めて、もう少し丁寧に進めていっていただきたいと思っております。あとあわせて除排雪の体制なのですが、昨年にも多額の除雪費用をかけましたが、2月、3月のシーズン終盤の降雪がとても多くて、排雪終わってから、雪がたまって交差点の見通しが悪い、排雪しないのか、様々な苦情が市民から寄せられた、特に苦情の多い1年だったと思います。それを踏まえていろいろとこれまでも議論させていただきました。大々的な排雪ではなくて、見通しの悪い交差点での雪下ろしも含めて、もうちょっと小規模に、コンパクトに対応できないのかというような議論もこれまでさせていただきましたが、道路管理組合に加盟して、マンパワーというのは2月中旬、3月にかけてなかなか減っていきます。いろいろ農家さんや漁師さんの関係もありまして、それで排雪の満足の体制

が取れないという実情も重々承知しております。そんな中でも、この組合に加盟していない事業所でも、国道の交差点の排雪等をやっているように、民間のパワーで、そういう対応できるという事業者は幾つもありますというお話もさせていただきました。これまで担当課も、いろんな事業所に相談というか、協議を重ねて、ある程度見通しは立ったのかなと私は思っているところなのですが、その辺の状況はどのようになっているのか、伺います。

○近藤賢都市管理課長 現在、組合に委託して除雪をしているところでございます。2月末、3月の排雪についても組合と協議をしているところでございますが、だんだん雪の降り方も遅くなっているということから、3月の排雪もあり得るということもございまして、その辺りは様々な事業者の意見を聞きながら、組合との調整も含めて適切な排雪ができるような体制は構築したいと考えております。また、排雪につきましても、雪があれば早い時期に判断をして、なるべく排雪をするということも念頭に置いて、業務を進めていきたいというふうに考えております。

○小田部照委員 組合との調整も含めてという今の答弁だったと思いますが、それはもちろん大切なことであります。これまでもずっとそうしてきたのですが、今言ったのは、そういう組合に、なかなかそういう対応できない状況が昨年もあったわけです。実際、マンパワーとしても。でもそうではなくても、緊急的に、応急的に柔軟に対応できる事業所というのは、幾つもありますというようなお話をさせていただきました。そういったところの事業者とも一定程度お話を、決まりではなくても、そういうことは可能なかどうかというような調査というか、お話されてきているのだと私は思っているのですけれども、その辺はどうですか。

○立花学建設港湾部長 雪の降り方が、これまで年に数十回といますか、かなり数が多い降雪量の時代から少雪の時代になってきていて、雪の降り方が委員からお話があるように、春先にどっと降るという状況に、気象の変化が最近問題となっていることは認識をしております。排雪に特化した体制としては、今委員からお話あるように、2月中旬ぐらいまで、マンパワーとしては何とか排雪に対応できる体制ではあるのですけれども、それ以降に、昨年のように降ったときには、なかなか組合だけでは対応しきれないということで、2年前から公共施設

の除雪業者さんに、路線とは別に公共施設だけをやっていただいている業者さん、さらには、高齢者間口除雪をしていただいている業者さん、様々土木業者さん以外の業者さんも参画をして除雪に携わっている業者さんも増えてきている状況でございます。そのような業者さんの中で、先ほどお話があったように、きれいに排雪をするというのはなかなか難しいと思うのですけれども、危険な交差点であるとか、見通しが悪い部分であるとか、コンパクトに安全対策として必要なポイントがもし発生するような場合、様々関わっていただいている業者さんも含めて、どのような形で対応できるかということについては、検討を進めたいと思っております。

先日、公共施設の業者さんにも、そのようなことが起きた場合の対応については、対応ができるという業者さんについては一定程度確認が取れましたので、そのような業者さんにどのようなことができるかということ、今シーズンから研究を進めて、事業化に向けて考えていきたいというふうには考えているところでございます。

○小田部照委員 今答弁あったように、雪の降り方次第なのですね、こればかりは。昨年がそうだったから今年もそうなるとは限らないので、状況を見ながら対応していただきたいと思えます。今御答弁あったように柔軟に、いろんな可能性も含めて、市民からこれだけ本当にみんな苦勞して、多額のお金を払って除雪やっているのに、こんなに市民に文句言われたらちょっと、我々もそうだし、対応する事業所もそうだし、役所もそうですし、みんなにとっていいことではないので、何か本当にうまいこといくように努力して進めていきましょう。

終わります。

○山田庫司郎委員長 ほかがございますか。

○深津晴江委員 細かいところではございますが、本当に除雪してくださっている方たちに感謝申し上げたいというふうに思えます。ただ、間口除雪はなかなか難しいという話は以前から議論されているところではございますが、例えば、町内会でごみ箱を設置されていますが、その前に除雪車で真っすぐ押して山になってしまって、大変町内会としては困っているというお話も時々聞きます。ごみ箱の前を除雪するというのは難しいと思うのですが、せめて高い山にならないように、少しわきに寄せてもらえるとか、何かそこら辺の配慮してもらえないかなというお願いです。結果的には高く積まれてしまいます

ので、町内会の方が困って、手では到底太刀打ちできませんので、除雪機でよけて、ごみ箱を使えるようにするというような案件を聞いておりますので、ぜひそこら辺も御検討いただければというふうに思っています。いかがでしょうか。

○近藤賢都市管理課長 除雪については、原則的には均一にかき分けて除雪をするというふうになっております。そういった特段高い山ができていう場合には、その都度御連絡をいただいて、対応させていただきますのでよろしくお願ひします。

○深津晴江委員 わかりました。個別に対応していただけるということでお願ひしたいと思ひます。

○山田庫司郎委員長 ほかがございますか。

○村椿敏章委員 私からも間口除雪の人たち用に空き地を利用してということがあると思うのですけれども、二ツ岩とかで言えば、片側には家あるけれども、もう片側は空き地だというようなところは均一に左右じゃなくて、その辺は、その場所に合わせて、家ある側のほうのやつは少し反対側のほうに押していくとか、そういうやわらかさが必要なのかなと思うのです。そこの反対側の土地の方がその土地に置いていいよというようなところについては、柔軟な対応をしてもらえたらなと思うのですけれども、どうでしょうか。

○近藤賢都市管理課長 そういった様々な条件があると思ひますので、要望があった場合は除雪センターのほうと調整をして、より良い除雪を進めてまいりたいと思ひます。

○山田庫司郎委員長 ほかがございますか。はい。それでは、これで質疑を終わらせていただきます。

次の議件に入るわけですが、ここで理事者退席のために暫時休憩いたします。

午後 1 時 29 分休憩

午後 1 時 30 分再開

○山田庫司郎委員長 休憩前に引き続き再開いたします。

次に議件 2、行政視察のとりまとめについて、協議させていただきます。

先日実施いたしました福井県福井市及び愛知県豊田市での行政視察について、既にレポートを提出していると思ひますので、皆さんから所感を各自述べていただきたいというふうに思ひますが、よろしいでしょうか。レポートと同じ内容になると思ひますが、コメントを含めてお願ひしたいと思ひます。

○村椿敏章委員 福井市と豊田市ですね。豊田市の

ほうで一番気になったというのが、やはり水道の漏水をどう見つけていくかということについては、こんなやり方があるのだというのを改めてわかりました。人工衛星から水が漏れている状況を探知できるという技術があるということには本当にびっくりしましたし、それで、かなり維持管理費も抑えていけるということもわかりましたので、網走でも漏水しているところは多々ありますから、今後にそういう技術も活かしてもらえるよう、これから話をしていきたいなど、そういうふうに思ったところです。

以上です。

○山田庫司郎委員長 小田部委員よろしいですか。

○小田部照委員 私のほうからも、まず福井県の観光戦略プロモーションの関係ですけれども、これでもと僕印象に残ったのがLDH JAPANとの連携協定を結んで、福井県の食、観光文化等を発信していくと。すごくEXILEのメンバーが携わって、福井に何度も来ていただいて、番組であったりSNSを通して、全国、全世界に発信するという、そういう連携協定は非常に費用対効果というか影響力が物すごいものがあるのだなど、現場で話を聞きながら、うらやましいなど。できるものがあれば、そういった可能性も含めて、当市でも取り入れていたらなどというのが強く印象に残ったところであります。

次の豊田市の水道の関係ですが、村椿委員のほうからもありました衛星を使って、漏水箇所を調査して、そういう危険な箇所を把握しながら、その対応に努めているということで、網走市でもGISを活用して可視化して、上水道・下水道の分布図、そしてそれに基づいて入れ替えはここまでした、これからこう入替える部分だということで、一定程度やり方は違うのですが、危険な箇所というのは把握して対応に努めているところではありますが、費用もかかることだとは思いますが、一つ、何か最新のなもうNASAとかそういうレベルのお話も伺ってききましたが、そういうやり方も一つあるんだなどということで、大変現地で勉強になったところであります。

以上です。

○山田庫司郎委員長 次、井戸委員。

○井戸達也委員 福井市と豊田市ということで、毎年行かせて、実際に見させて、いただいております。聞いてきたわけですが、福井市に関しては、最大の北陸新幹線の福井開業という部分が大きな転機になっていて、それに向けた、これまで比較的目的

たない福井という存在を全面的にイメージアップを図っていかうということの取組だというふうに理解して、その中身については、先ほど他の委員からもお話あったように、やはりよく考えられて、そして福井のイメージを高くするためにも、作戦というか、非常に抜群なセンスでやっているなどというのが実感としてありました。

食に関しても、私そもそも福井というイメージではあまりこれまでしてこなかったものが、新たに福井ってこんなところなんだっていうのを深く感じさせていただきましたし、やってきたことが、見事に成功に結びついているなどということ非常に強く感じました。

当市も高規格道路の延伸を新たに図っていく中で、一つ参考になる部分というか、何かしらの網走をもっと強力にPRしていくべきときがまた来るのかなという一つの参考材料としても、非常に大きく感じさせさせていただきました。

次に豊田市のDXに関するお話でしたけれども、網走市もDXを進める中で、例えば、水道に関しても道路に関しても、人が調べていくにはある程度限界があるなどという部分と、これをいかに幅広く正確にそれを把握するという部分でいくと、まさに人工衛星を使った全体をくまなく見ていくという部分では、技術的な部分でみると非常にさすがだなと。アメリカの企業が開発したものだということで、真っ先にそこにお話を持っていったところ、アクションとしても素晴らしいものがあつたなどというふうに思っています。これに関しては、いろいろなデジタル化を進める中で、いかに我々の生活にとって漏れなくデジタルを活用していけるかという部分に関しては、非常に高い技術とそれなりの苦勞と目のつけどころと、そこに大きな金銭的な投資もあつたのだろうというふうに思っておりますけれども、この件についても、非常に大変参考になった部分が多くございますので、今後、網走市のあらゆる部分でこのデジタルというものを上手に取り入れながら進めていくべきだなというふうに感じました。

以上です。

○山田庫司郎委員長 立崎委員、お願いします。

○立崎聡一委員 まずは両市を選定してくれたということを感謝したいなどというふうに思います。

各委員それぞれ、それぞれの町のお話をさせてもらっているみたいなのですが、人口減少でマンパワーが足りないということがまず大前提にあつ

て、一つ目の福井市に関して言えば、先ほど他の委員から言いましたLDHとコラボしてという、そこはすごいです。そこをうまく、ウィン・ウィンの関係になれるように持っていくという発想とかっているのはすごいなというふうに思いました。それってどこでもできるのだろうなど、網走でも活用できるのだろうなというふうに思いますけれども、そういうつながりを持っていただけるような人づくりをしていかなければならないというのは、一つ感じました。

豊田市のほうは、DX、デジタルトランスフォーメーションというやつですか。僕らも本業のほうでは、GPSなんかを使ってマンパワーを補っているという部分もあります。すごく着眼点がよかったのか、それともいっぺんに取り入れたことがよかったのか、ちょっとわからないのですけれども。ただ、やっていることは素晴らしいことで、まねすべきことはやっぱりまねしたほうがいいのだろうなど。もちろんいろんな予算の関係ですとか、豊田市はやはり近くに相談できるような民間企業とかもありましたので、そういった部分では、条件は多少違うのでしょうけれども、やっぱり取り組んでいかなければならないのだろうなというふうに思いました。いずれにしても両市ともに、人口減少後の我が町の在り方、それから現状維持しているサービスの観点からいっても、それをどう維持していくのか、もっとよりよい活用をして伸ばしていくのかというふうに、感じられました。すごく実のある行政視察だったというふうに思っております。

以上です。

○山田庫司郎委員長 深津委員。

○深津晴江委員 まず福井市ですが、新幹線開業100年という、100年に一度と言われる好機を活用して知名度とイメージアップを図るプロモーションを行ったのを視察させていただきました。新幹線開業というのが決まってからちゃんと逆算をして、いつに何をやるのかっていうところを毎年だったりいろんなプロモーションを増やしながらかつていたという部分に関しては、やはり時間的戦略というところも重要なのだなということを学びました。また、さっきもありましたとおり、いかにインフルエンサーと関わって、その方たちの発信力を活用していくということも重要なことというふうに思います。何といたっても、官民が一体となってやっていたということで、両方の目指すところというところをまず一致さ

せるというところをしっかりとやった上で、それぞれがどんな行動を起こしていくのかということが重要だということを知りました。

次に豊田市なのですが、やはり人口減少と人手不足っていうことは、どの町にも、網走ももちろんなのですが起こっていますので、そのために何が行えるのかというふうにもいろいろ検討していて、今回のDXに関しましては、ある方がテレビを見ていてそのヒントを得たということで、そこからいろんな企業にアプローチしたり、整えながら進めていったということで、どこにヒントがあるかというところは、それぞれが常々アンテナを張ってしっかりと情報を収集していく。しかもそれを土台にして、さらに発展できるように、行動を起こしていくということが重要だというふうに学びました。網走市ももちろんDX進めておりますが、意識としましては、職員が市民の幸せにつながる行動を実践するということについて、いろいろ考えているということも学ぶことができました。時間と費用を軽減できる先駆的な事業を学び、網走でもDXの活用をさらに進めるように、各事業の効率化を図る必要性を強く感じた行政視察でした。

ありがとうございます。

○山田庫司郎委員長 各自ありがとうございます。最後に私からもちょっとコメントさせていただきますが、それぞれの委員から出ているところと重なる部分もございまして、福井については、やっぱり今までの表現がいいのかですが、ちょっと市民的・県民的に奥手で控え目な性格だったというような報告もありましたけれども、この新幹線を機にやっぱり前にちょっと進むうではないかということで、いろいろな意味で活発化しているということも勉強させていただきましたので、非常に参考になったかなと。

それと豊田市についても、皆さんからありました。ただ私もDXのほうに非常に疎いのですが、網走市もGISで結構進んでいますねと褒められたことだけすごく頭残っているのですが、それも原課に行ってやっぱりきちっと報告してあげたほうがいいかなとちょっと思っているところもありますが、そういったやっぱり漏水の問題、それからパトロール車の後ろにカメラ的なものをつけて、いろいろなことをやっぱりやるということがこれからは網走にとって可能性ないわけではないので、いろいろ参考になったかなというふうに思いますので、ぜひ網走の

行政に活かせればと、こんなふうに思っています。

以上で各委員からコメントいただきました。

提出いただいた報告書は取りまとめをさせていただいていますので、フォントと体裁を整えた上で、ホームページへ掲載するというごことで皆さんの御了解をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、そのようにさせていただきたいと思えます。

せっかくの機会です。皆さんから何かあれば、お受けをしたいと思えますが。

それではこれもちまして、総務経済委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午後 1 時 44 分閉会
